教科　国語　　科目　現代の国語(令和８年度)

授業科目	現代の国語	単位数	２単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校1年	コース	ICT科・普通科		
教科書	新編現代の国語 改訂版(大修館)	副教材	学習ノート、高校生の語彙と漢字		
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	1学期	1 ことばをひらく	「春」について筆者の考えを読み取る。高校生活で取り組みたいことについて、自分の考えを深めたり、広げたりする。	・この春、なにを始めよう ・コミュニケーションは技術だ」
		2 日本語を使いこなす	場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。	・正しく書こう ・文を整え、文をつなぐ
		3 分かりやすく説明する	説明の仕方に注意して文章構成や内容をつかむ。 相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。 接続表現に気をつけて読み、説明のしかたをとらえる。問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。	・人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか ・ナンバーワンか、オンリーワンか ・生きることと食べることの意味 ・絵や写真を説明しよう
	2学期	4 聞く力・話す力を育む	大切なことを落とさずに、正確に聞く。 自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。 傾聴の方法を知り、話し手が話しやすいように意識しながら聞く。	・聞き取りのレッスン ・聞き上手になろう ・ショートスピーチをしよう
		5 論理を読み取る	対比関係を意識し、違いを明確にしながら読む。 具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読み、筆者の主張を読み取る。	・商品と贈り物の違い ・水の東西 ・人間とAI—想像力の源泉
		6 伝え合いのレッスン	相手や場面に配慮した表現のしかたや言葉以外の要素の大切さを知り、目的に応じた工夫をする。 さまざまな方法を用いて、アイディアを広げたり整理したりする。	・対話のレッスン ・話し合って結論を出そう
		漢字検定	漢字検定を目標に模擬問題に取り組む。	漢字検定
		7 説得力を高める	意見と理由を備え、反対意見をふまえた説得力のある意見文を書く。	・つなぎ型しだい ・意見文の基礎を学ぼう
	3学期	8 情報と向き合う	視点や根拠に注意して情報を吟味するとともに、図表などから必要な情報を読み取る。 適切な方法で集めた情報を根拠として、説得力のあるレポートをまとめる。	・情報の力関係 ・どこもかしこもプラスチック！ ・レポートを書こう
		9 他者を動かす	企画書に必要な要素を知り、見やすく、分かりやすい企画書をまとめる。 聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する。	・魅力的な企画書を書こう ・プレゼンテーションをしよう
		10 社会に目を向けて	文章の構成のしかたや具体例の役割に注意しながら、筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見をもつ。 筆者の主張をふまえて、自分の考えを深める。	・何のために「働く」のか ・自分の考えをつくるために

教科　国語　　科目　言語文化

授業科目	言語文化	単位数	２単位	履修形態	必修　・　選択
履修学年	高校１年	コース	ICT科・普通科		
教科書	新編現代の国語（大修館）	副教材	学習課題ノート		
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

		単　元	目　　標	教　材
授業内容 および 到達目標	1学期	ことばと出会う	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。	・言葉の森を育てよう ・言葉と愛
		表現を味わう	文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	・水かまきり ・とんかつ
		文化を見つめる	日本のデザインに見られる独特の感性について筆者の主張を読み取る。	・漢字と仮名の使い分け ・アナログ的な日本の四季 ・一瞬の風になれ ・光のうつしえ
		物語を受け継ぐ	小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。	・羅生門
	2学期	ことばと多様性	叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。	・祖母が笑うということ ・ことばは光
		古典に親しむ	古文を読む意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。また、音読を繰り返すことで古文に慣れ、古文と現代文の違いを理解し、基礎を身につける。	・古典の世界を楽しもう ・いろは歌 ・児のそら寝 ・十二の「子」文字
		随筆を楽しむ	随筆の文章表現の特色について理解する。また、両作品を通して自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。	・徒然草 ・枕草子
		物語の広がり	物語を読み、そこに描かれた心情や人物像を読み取る。	・伊勢物語 ・平家物語
		旅への思い	さまざまな旅を描いた作品を読み、古人の旅の思いを想像する。	・土佐日記 ・更級日記 ・おくのほそ道
	3学期	漢文に親しむ	漢文の訓読のきまりについて理解する。	・漢文入門 ・訓読のきまり ・格言 ・再読文字
		現代に生きることば	故事成語について知り、その背景となるエピソードに触れる。	・守株 ・五十歩百歩 ・蛇足
		古人に学ぶ	『論語』を読み、孔子の思想やその影響について考える。	・論語
		漢文を楽しむ	さばざまなジャンルの漢文を読み、漢文を楽しむ。	・完璧 ・鶏鳴狗盗

教　科　　社会　　科　目　地理

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">地理総合</td><td>単位数</td><td>２単位</td><td>履修形態</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">高校１年</td><td>コース</td><td colspan="3">ICT 科・普通科</td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="3">帝国書院</td><td>副教材</td><td colspan="2">地図・ワーク</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単　元</td><td colspan="3">目　　標</td><td>教　材</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1
学
期</td><td>地図や地理情報システムと現代社会</td><td colspan="3">地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">世界を構成する国家の領域の定め方や，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2
学
期</td><td>世界のさまざまな地域</td><td colspan="3">世界の諸地域（アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州）について学習する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">世界の諸地域（北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州）について学習する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>地球規模的な課題</td><td colspan="3">世界から見た日本の姿について学習する。
日本の自然環境・人口・資源とエネルギー・世界との結びつきについて学習する。</td><td>教科書
ワーク</td></tr>
</table>

教科…数学、科目…数学Ⅰ

	授業科目	数学Ⅰ	**単位数**	３単位	**履修形態** 必修 ・ 選択
	履修学年	１年　ICT科			
	教科書	**数学Ⅰ Select（東京書籍）**	**副教材**	**CANVAS 数学Ⅰ+A（東京書籍）**	
	授業概要	数学Ⅰでは，中学校数学で扱った内容を発展させたものとして，①数と式，②集合と論証，③二次関数，④図形と計量，⑤データの分析の５分野を扱います。 高等学校数学における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な見方や考え方といった数学的素養を身に着けるようにします。			

	授業内容および到達目標	単　元	目　標
一学期	**授業内容および到達目標**	**数と式**	（１）式の展開や因数分解の公式の理解を深める
			（２）数を分類・整理し，数の体系を身に着ける
			（３）根号を含む四則演算ができるようにする
			（４）不等式の解の意味と性質を理解する
		集合と論証	（１）集合の表し方と要素について理解する
			（２）部分集合，共通部分と和集合を理解する
			（３）補集合とド・モルガンの法則を理解する
			（４）命題と論証について理解する
		２次関数	（１）２次関数の式とグラフの形の関係を理解する
			（２）２次関数のグラフと２次方程式の関係を理解する
			（３）２次不等式の意味を考え，解けるようにする
二学期		**図形と計量**	（１）正弦，余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として理解する
			（２）0°～180°の場合までの三角比の値を求められる
			（３）三角比についての相互の関係を理解する
			（４）正弦定理，余弦定理を利用し，三角形の未知の辺や角の大きさを求められる
			（５）三角比を利用して三角形の面積を求められる
三学期		**データの分析**	（１）データの整理と代表値（平均値・中央値・最頻値）の計算ができる
			（２）四分位数・箱ひげ図について理解し，ヒストグラムと対応できる
			（３）分散と標準偏差の意味を理解しデータから求められる
			（４）散布図と相関関係が調べられ，相関係数を求めることができる
			（５）仮説検定の考え方を理解する

教　科　　理科　　科　目　科学と人間生活

授業科目	科学と人間生活	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	1 年	コース	ICT 科		
教科書	数研出版　改訂版科学と人間生活		副教材	改訂版準拠科学と人間生活サポートノート	
授業概要	化学、生物、地学、物理の 4 つの分野について、基本的な原理や法則について理解する。また、それらの原理が科学技術としてどのように日常生活中に利用されているのかを具体的に理解する。 実験や ICT 教材、調べ学習などを通して、知識を身に付けるだけではなく、自分で調べたり考えたりする力を高められるような授業にします。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1 学期	第 3 章 光や熱の科学 第 1 章 物質の科学	熱の基本的な性質について理解する。また、仕事や電流と熱の関係について理解し、熱エネルギーの利用に関する知識を深める。 三大栄養素の性質や構造をについて理解する。また、五大栄養素の特徴について理解する。 身の回りに存在する金属の性質や用途、製錬の方法について理解する。	熱　電流 エネルギー 五大栄養素 金属結合 製錬　合金
	2 学期	第 2 章 生命の科学	遺伝子の本体である DNA について理解する。また、DNA がどのような過程で生物の形質決定に関わるかを理解する。微生物と人間のかかわりについて理解する。	DNA 転写　翻訳 タンパク質
	3 学期	第 4 章 地球や宇宙の科学	太陽や月などの身近に見られる天体と太陽系における地球を扱う。太陽が地球に及ぼす影響や太陽系の広がりや構造について理解する。	恒星　惑星 衛星

教　科　保健体育　　科　目　保健

授業科目	保健	単位数	１単位	履修形態	○必修・選択
履修学年	高校１年	コース	普通・ICT　全コース		
教科書	最新高等保健体育（大修館書店）		副教材	最新高等保健体育ノート（大修館書店）	
授業概要	今日私達が暮らす社会はとても豊かである。それでも生活習慣病や薬物、また心の問題など健康に関わる問題は少なくない。さらに時代の流れの中で健康自体の捉え方や健康の為に、人や社会に望む事も変化している。そこで健康のあり方等を学習させたい。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	１学期	現代社会と健康	我国における健康水準・問題を理解させ、健康の成り立ち・保持増進について考えさせる。	健康の捉え方・考え方 ＰＣ使用
			各国の水準調査	
			我国や世界の健康の為の活動を知る。	保持増進と疾病異常
			生活習慣と関連の深い病気を知る。	
	２学期	現代社会と健康	喫煙・飲酒・薬物乱用・医薬品と健康について理解させる。	
			感染症・ＡＩＤＳについて理解させ、その予防対策を知る。	
			心と身体の関わりを知る。	精神の発達
			欲求不満と適応機制について理解させる。	
			自己実現のあり方を知る。	
	３学期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因について知る。	交通安全
			交通社会における運転者の資質と責任を理解させる。保険等の調査ＰＣ使用	
			安全な交通社会づくりを知る。	
			応急手当の意義と手当の手順を知る。	応急手当 心肺蘇生法
			心肺蘇生法の理解と実習。	

教　科　保健体育　　科　目　体育

授業科目	体育	単位数	２単位	履修形態	○必修　・　選択
履修学年	高校１年	コース	ICT 科		
教科書	なし		副教材	アクティブスポーツ　大修館書店	
授業概要	運動を通して、集団の中で他人への思いやりの心を養うことと、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。	
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の状態に気づくことが出来るようにする。	
		新体力テスト	持久走を含む８種目　A ランクを目標	
		水泳	水の特性を理解し、自由形・平泳ぎ・背泳ぎの３泳法をマスターする。	
		バスケットボール	ネット型の特性を理解し、ドリブル、シュート、パスの正しい技術を身につける。	
	2学期	ダンス	表現したい内容が伝わるような動きを工夫したり、呼吸を合わせたり、めりはりをつけて踊ることができるようにする。	
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。接転系の技を正しい姿勢でできるようにする。	
		体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。	
		新体力テスト	持久走を含む８種目　A ランクを目標	
	3学期	サッカー	ルールを理解し、パスやドリブルの正確な技術を身につける。	
		武道	武道の特性を理解させ、姿勢や組み方を中心に、安全を考えて練習する。	

All Aboard! English Communication Ⅰ Revised　シラバス・評価規準

外国語

「英語コミュニケーションⅠ」	単位数	３単位	学科	ICT 科	学年･学級	第１学年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 １．必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ２．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ３．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 ４．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 ５．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
使用教科書、副教材など	「All Aboard! English Communication Ⅰ Revised」（ＣⅠ002-901） 「All Aboard! English Communication Ⅰ Revised ワークブック」（東京書籍） 「All Aboard! English Communication Ⅰ Revised ブリッジワークブック」（東京書籍）

教　科　　商　業　　科　目　　ビジネス基礎

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">ビジネス基礎</td><td>単位数</td><td>2 単位</td><td>履修形態</td><td>必修　・　選択</td></tr>
<tr><td>履修学年</td><td colspan="2">高校 1 年　ICT 科</td><td>コース</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>教科書</td><td colspan="3">ビジネス基礎（実教出版）</td><td>副教材</td><td colspan="2">ビジネスマナー＠カレッジ
(英光社)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="6">高校で学ぶ商業科目の基礎となる科目として、ビジネスの役割を理解し、ビジネスに対する心構えを習得する。また、売買取引についての基礎を理解し、さまざまな代金決済方法を習得する。コンピュータを利用したビジネス情報活用、コミュニケーション能力を身につける。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">授業内容
および
到達目標</td><td></td><td>単　元</td><td colspan="2">目　　標</td><td colspan="2">教　材</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1
学
期</td><td>売買取引と代金決済</td><td colspan="2">小切手・手形等の仕組みなどの基礎的な知識の習得。
売買に関する計算。</td><td colspan="2">教科書</td></tr>
<tr><td>流通活動と企業</td><td colspan="2">株式会社や本支店、親会社子会社などの知識の習得。
株式や有価証券・社債等。</td><td colspan="2">教科書</td></tr>
<tr><td>2
学
期</td><td>企業活動の基礎</td><td colspan="2">企業の資金調達・税・雇用などの基礎を学ぶ。
ビジネスと売買取引について学ぶ。</td><td colspan="2">教科書</td></tr>
<tr><td>3
学
期</td><td>売買に関する計算とビジネスとコミュニケーション</td><td colspan="2">売買に関する計算方法を習得。
ビジネスマナーを習得。
ビジネスにおける情報の活用を理解する。</td><td colspan="2">教科書
副教材</td></tr>
</table>

教　科　　商　業　　科　目　　簿記

授業科目	簿記	単位数	4 単位	履修形態	必修・　選択
履修学年	高校１年　ICT 科	コース			
教科書	商業簿記テキスト（立志舎）		副教材	商業簿記問題集（立志舎） 各簿記検定問題集（立志舎）	
授業概要	簿記の目的とルールを理解し、個人商店における簿記の仕組みについて学習する。 株式会社会計についての会計処理を学習する。 本支店会計や連結会計等に取り組み、理解する。				

授業内容 および 到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1 学 期	簿記の基礎 取引と仕訳	簿記の目的とルールを理解する。個人商店における経営活動と取引内容（仕訳）の理解を目指す。 現金預金・商品売買・手形・有価証券・債権債務・固定資産・資本金・収益・費用の仕訳の正確な会計処理を目指す。	テキスト 問題集
		損益計算書 貸借対照表 帳簿組織	取引から決算処理、財務諸表作成までの手順の理解を目指す。主要簿・補助簿・財務諸表を正確に作成する。	テキスト 問題集
	2 学 期	株式会社会計 連結会計 その他取引	株式会社の創立から純利益の計上、株主総会での利益処分までの処理方法を理解する。 連結会計における目的や、消去振替仕訳、未実現損益の消去仕訳等会計処理を理解する。 銀行勘定調整表・株主資本等変動計算書・リース取引・外貨換算会計・などの会計処理について理解する。	テキスト 問題集 過去問題
	3 学 期	本支店会計 税効果会計 製造業会計	本支店間の取引・合併財務諸表の作成をする。 法人税等の利益に対して課される税金の期間配分の意味と会計処理について理解する。 製造業を営む会社の決算処理を理解し、正確な財務諸表を作成する。	問題集 過去問題

教　科　　商　業　　科　目　　原価計算

授業科目	原価計算	単位数	4 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年 ICT 科	コース			
教科書	簿記テキスト　（立志舎） 工業簿記テキスト　（立志舎）		副教材	簿記問題集　（立志舎） 各検定問題集　（立志舎）	
授業概要	製造業を営む工企業の簿記であることを理解し、商業簿記との違いを確認する。多くの原価計算制度についてその特性を学び、製造原価・月末仕掛品の把握をする。さらに原価管理に有効な標準原価計算や短期利益計画に適した直接原価計算について学ぶ。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	工業簿記の基礎	商業簿記と工業簿記の違いを理解する。原価の概念と分類を把握し、勘定の流れ、製品販売から月次決算、年次決算までの流れを理解する。	テキスト 問題集
		費目別計算 個別原価計算 直接原価計算	材料費・労務費・経費勘定の種類や直接費・間接費の分類・仕掛品・製造間接費勘定の会計処理について理解する。 製造指図別の製造原価を算定する。 短期利益計画に有効な原価計算であることを理解し、損益計算書の作成方法を学ぶ。	テキスト 問題集
	2学期	標準原価計算 総合原価計算	原価管理を有効に行う原価計算であることを理解し、勘定記入方法について学ぶ。 単純・組別・工程別・等級別総合原価計算の製造原価・月末仕掛品原価の算定をする。	問題集 模擬問題 過去問題
	3学期	原価予測 本社工場会計	企業経営においての必要性を理解し、高低点法について学ぶ。 本社と工場それぞれの記帳範囲から本社勘定・工場勘定の仕分まで理解する。	問題集 過去問題

教　科　　商業　　科　目　情報処理

授業科目	情報処理	単位数	２単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校１年　ＩＣＴ科	コース	全コース		
教科書	情報処理（実教出版）		副教材	表計算問題集 （日本情報処理検定協会） 日本語ワープロ問題集 （日本情報処理検定協会） 電子会計テキスト（実教出版）	
授業概要	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				

授業内容および到達目標		単　元	目　　標	教　材
	1学期	企業活動と情報処理	情報処理の重要性、情報モラルについて学ぶ。ワープロの速度やビジネス文書に関する知識についての学習をする。	情報処理教科書
		コンピュータシステムと情報デザイン	ネットワーク接続、イントラネットの基礎的な設定方法等を学習する。「Excel」の関数を学び、表計算ソフトの知識を習得する。	情報処理教科書
	2学期	情報の集計と分析	表計算ソフトを使用し、データの集計と分析の知識を学ぶ。	表計算問題集
		ビジネス文書の作成	「Word」を使用して文書作成の技術を学び、幅広い文書を作れるようにする。	日本語ワープロ問題集
	3学期	プレゼンテーション 電子会計	プレゼンテーションを行う際の話の構成、話し方、画像と音声の活用などプレゼンテーションソフトウェアを活用する。 勘定奉行を利用しての会計処理を理解し、仕訳から財務諸表の作成までの流れを学ぶ。	情報処理教科書 電子会計テキスト